

3-6 生物調査

ハス群落を環境単位として形成される生態系を把握するため、鳥類、昆虫類、魚類、底生生物及びプランクトン類の生息状況調査を行った。

なお、生物調査ではハス群落地区の対象区として手賀沼左岸の開放水面地区においても同様の調査を行った。

3-6-1 鳥類調査

ハス群落地区及び開放水面地区における鳥類の生息状況を把握するために、スポットセンサス、任意踏査及び船上調査を行った。

なお、本調査は市民協働型調査とし、我孫子野鳥を守る会会員の協力を得て実施した。

(1) 調査方法

a. 調査手法

スポットセンサス

スポットセンサスでは、各地区に生息する鳥類を定量的に把握することを目的とした。

調査地区を見渡すことができる位置に設定した調査定点(センサスポイント)に調査員が一定時間滞在し、双眼鏡(8～10 倍程度)や地上用望遠鏡(20～60 倍程度)による観察を行い、調査範囲内に出現した鳥類を姿や鳴き声により識別して、種名や個体数、指標行動*等を記録した。

(調査票は資料編を参照)

表 3-6-1 スポットセンサス実施条件

調査定点数	ハス群落地区及び開放水面地区に各 3 定点
調査範囲	各調査定点から半径 200m の範囲内 200m 超の出現種は、同定できた場合に記録した
調査時間	各定点 20 分間とし、日の出から正午の間に実施した
記録内容	種名及び個体数 指標行動を確認した場合は、その位置を地図上に記録した

指標行動

本調査では、鳥類によるハス群落及び開放水面の利用価値を推測するために、環境の利用方法を指標する以下の様な行動を確認した場合、その種名、個体数及び位置を地図上に記録した。

繁殖を指標する行動

巣の出入り、抱卵・抱雛、糞運び、餌運び、偽傷、営巣痕跡(卵殻、幼羽、糞、餌残骸等)、巣内卵、巣内雛、巣立ち直後の雛、囀り、ドラミング、その他の求愛、交尾、警戒行動、造巣行動、家族群

餌場を指標する行動

採餌、採餌

その他、ねぐら利用を指標する行動等

任意踏査

任意踏査では、スポットセンサスを補足し、各地区の鳥類相を定性的に把握することを目的とした。

調査地区内を調査員が任意に踏査し、出現する鳥類を姿や鳴き声により識別して、種名や指標行動等を記録した。(調査票は資料編を参照)

表 3-6-2 任意踏査実施条件

踏査ルート	ハス群落地区及び開放水面地区の沿岸遊歩道沿いとした
調査時間	ハス群落地区及び開放水面地区で各 1 時間程度を目安とし、日の出から正午までの間に実施した
記録内容	種名 指標行動を確認した場合は、その位置を地図上に記録した

船上調査

船上調査では、陸上からの調査では確認が難しいハス群落内及び開放水面における鳥類の生息状況を定性的に把握することを目的とした。

小型ボートを用いて調査地区内を任意に航行し、出現する鳥類を姿や鳴き声により識別して、種名や指標行動等を記録した。

表 3-6-3 船上調査実施条件

航行ルート	ハス群落及び開放水面上の代表的な環境を観察できるルートを任意に設定した
調査時間	ハス群落地区及び開放水面地区で各 1 時間程度を目安とし、日の出から正午までの間に実施した
記録内容	種名 指標行動を確認した場合は、その位置を地図上に記録した



スポットセンサス



船上調査

b. 調査箇所

鳥類調査は①ハス群落地区の他、対象区として手賀沼左岸の②開放水面地区の計 2 地区で実施した。

なお、スポットセンサスの調査定点は、間隔が 200m 以上となるように、ハス群落地区及び開放水面地区に各 3 定点を設定した。

鳥類調査地区及びスポットセンサスの調査定点を図 3-6-1 に示す。

また、スポットセンサス調査定点からの視野状況を図 3-6-2～図 3-6-7 に示す。

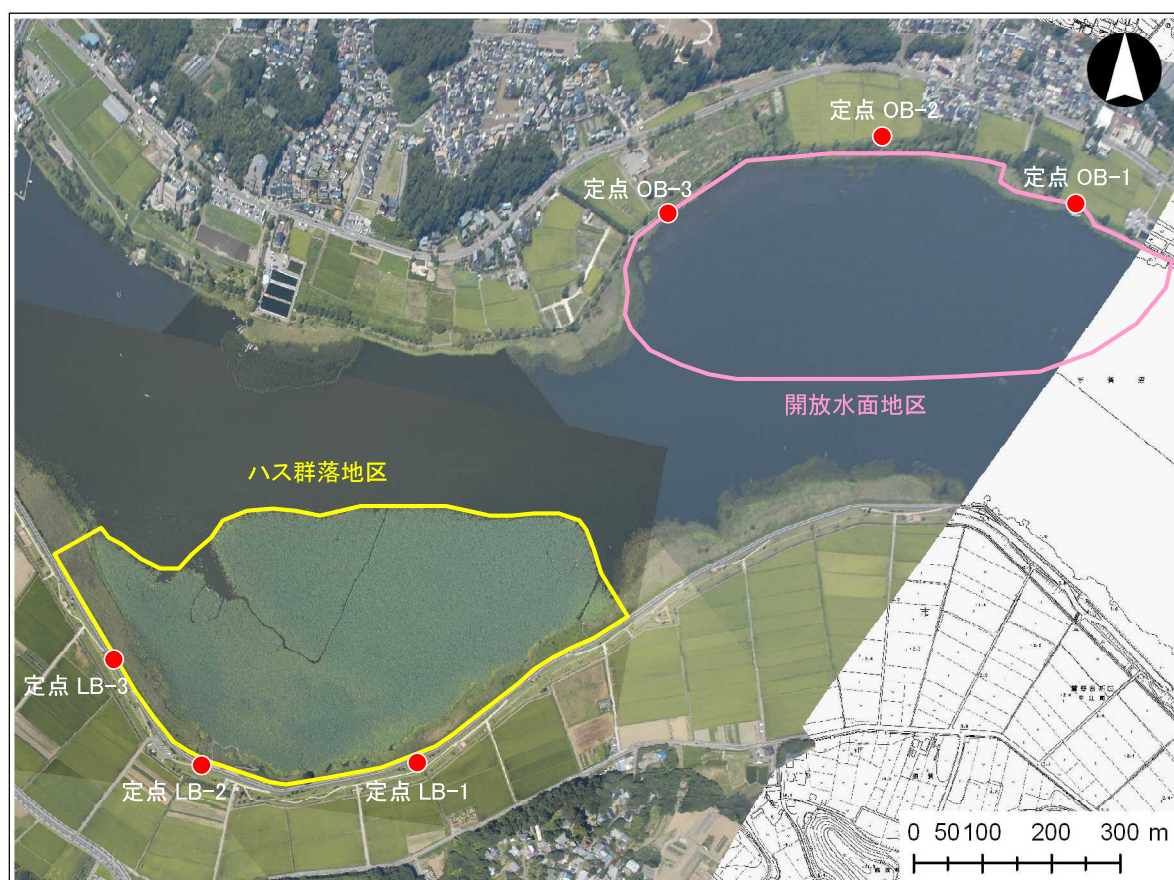


図 3-6-1 鳥類調査箇所



図 3-6-2 LB-1 の視野状況



図 3-6-3 LB-2 の視野状況



図 3-6-4 LB-3 の視野状況



図 3-6-5 OB-1 の視野状況



図 3-6-6 OB-2 の視野状況



図 3-6-7 OB-3 の視野状況

c. 調査時期

スポットセンサス及び任意踏査は平成 21 年 5 月から平成 22 年 3 月まで、毎月 2 回(計 22 回)実施した。船上調査は、夏鳥を主対象とする調査を 2 回(6 月、7 月)、秋の渡り鳥を主対象とする調査を 1 回(10 月)、冬鳥を主対象とする調査を 2 回(12 月、2 月)の計 5 回実施した。

(2) 調査結果

a. 確認種数・確認個体数

鳥類調査実施日と天候及び鳥類確認状況の概要を表 3-6-4 及び図 3-6-8 に示す。

また、調査回別の確認種リストを表 3-6-5～表 3-6-7 に示す。

- 本調査では、ハス群落地区と開放水面地区を合わせて 27 科 66 種の鳥類を確認した
- 夏季は種数・個体数ともに開放水面地区の方が多く、冬季はハス群落地区の方が多い傾向が認められた
- 確認種数及び確認個体数の年間合計値は、ハス群落地区が 57 種 2,771 個体、開放水面地区が 57 種 2,813 個体とほぼ同数であった
- 確認種数が最も多かった日は、ハス群落では 1/7(28 種)、開放水面では 2/4 と 3/4(27 種)で、いずれも冬季であった
- 確認個体数が最も多かった日は、ハス群落では 12/24(231 個体)、開放水面では 7/26(309 個体)であった、ただし、開放水面の 309 個体のうち 120 個体は、上空を通過したドバトの群によるもので、これを除くと 1/21(226 個体)が最も多かった
- ハス群落で最も確認個体数の多かった種は、10 月以降に確認されたマガモ(374 個体)で、全確認個体数の 13%を占めた
- 開放水面地区で最も確認個体数の多かった種はカルガモ(566 個体)で、全確認個体数の 20%を占めた、カルガモは年間を通じて確認される留鳥だが、特に冬季の確認個体数が多かった

表 3-6-4 鳥類調査結果の概要

調査回	調査日	天候	調査手法			ハス群落地区		開放水面地区	
			スポット センサス	任意 踏査	船上 調査	確認 種数	確認 個体数	確認 種数	確認 個体数
1	5/24	曇一時雨	●	●		16	63	19	86
2	5/31	曇	●	●		15	65	19	52
3	6/18	曇	●	●		11	39	12	50
4	6/27	晴	●	●	●	11	47	14	65
5	7/11	晴一時曇	●	●		14	62	17	132
6	7/26	晴	●	●	●	17	130	19	309
7	8/13	曇	●	●		13	63	15	48
8	8/27	晴	●	●		11	62	21	136
9	9/10	晴	●	●		14	101	16	86
10	9/24	晴	●	●		17	43	21	116
11	10/15	晴	●	●		18	170	22	182
12	10/29	晴	●	●	●	23	98	25	193
13	11/12	曇	●	●		19	202	20	166
14	11/26	晴	●	●		25	196	23	120
15	12/10	晴一時曇	●	●		25	230	24	116
16	12/24	晴	●	●	●	27	231	23	130
17	1/7	晴一時曇	●	●		28	216	21	154
18	1/21	曇	●	●		25	189	26	226
19	2/4	晴	●	●	●	22	171	27	146
20	2/19	晴後曇	●	●		22	205	20	98
21	3/4	曇	●	●		22	121	27	136
22	3/18	曇	●	●		24	99	22	107
合計			22回	22回	5回	57	2,771	57	2,813

※ 確認種数はスポットセンサス、確認個体数は全調査手法による(上空を通過した確認例を含む)

※ 各調査回で確認種数及び個体数の多かった地区を黄色着色により示す

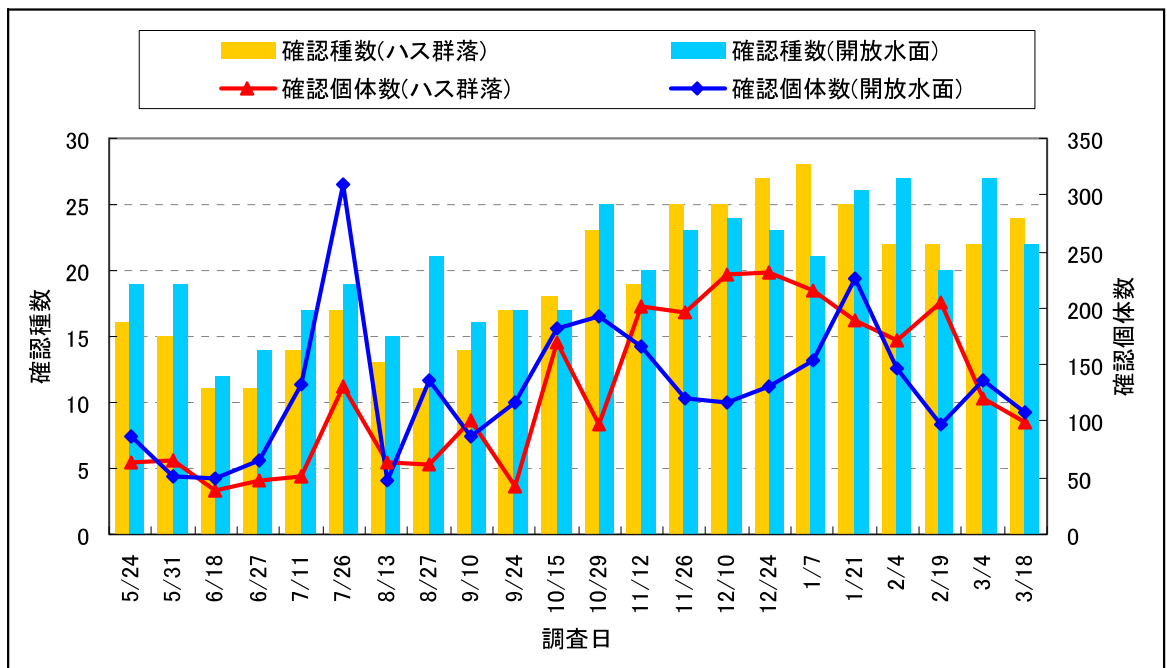


図 3-6-8 鳥類確認種数・個体数の推移

表 3-6-5 調査回別鳥類確認種 (5月～8月)

No.	確認種		5/24		5/31		6/18		6/27		7/11		7/26		8/13		8/27	
	科名	種名	ハス	水面	ハス	水面	ハス	水面	ハス	水面	ハス	水面	ハス	水面	ハス	水面	ハス	水面
1	カイツブリ	カイツブリ	7	8	6	4	8	3	10	16	5	7	●	8	1	9	3	6
2		ハジロカイツブリ																
3		ミミカイツブリ																
4		カンムリカイツブリ																
5	ウ	カワウ	11	23	17	15	6	25	4	28	5	31	1	40		9	9	9
6	サギ	ヨシゴイ											●			1		
7		ゴイサギ			●			1			10	2		1				
8		アマサギ				●												
9		ダイサギ	3	1		3		1		1	2	6		4	1	3	1	8
10		チュウサギ		●	●					1						●		1
11		コサギ												15		6		4
12		アオサギ	5	8	1	3	1	1	●	2	5	5	1	3	1	4		4
13	カモ	マガモ																
14		カルガモ	3	15	8	4	1	1	●	●	●	26	1	70	4	8	9	50
15		コガモ																
16		ヒドリガモ																
17		オナガガモ																
18		ホシハジロ																
19		キンクロハジロ																
20		ミコアイサ																
21	タカ	ミサゴ																
22		トビ		1									●					
23		オオタカ											●					1
24		チュウヒ																
25	キジ	キジ																
26	クイナ	バン	1			1												
27		オオバン	4	3	8	6	3	2	5	2	●	3	●	2	1	2		3
28	チドリ	コチドリ																
29	シギ	イソシギ										1					1	3
30		タシギ																
31	セイタカシギ	セイタカシギ														2		
32	カモメ	ユリカモメ																
33		セグロカモメ																
34		オオセグロカモメ																
35		アジサシ																
36		コアジサシ	●	4		●		2	●			11						
37	ハト	キジバト		1		2					2	1	●	2	●		2	●
38	カワセミ	カワセミ	1	2	2	1	5	2	5	4	●	3	2	4		2	1	6
39	ヒバリ	ヒバリ																
40	ツバメ	ツバメ	5	13	7	7	8	12	16	6	25	7	43	9	37	●	25	11
41	セキレイ	ハクセキレイ		2	2	1						1		●		1		5
42		セグロセキレイ		●		●			●									1
43		タヒバリ																
44	ヒヨドリ	ヒヨドリ								●								
45	モズ	モズ					2											
46	ツグミ	ジョウビタキ																
47		アカハラ																
48		ツグミ																
49	ウグイス	ウグイス																1
50		コヨシキリ	●															
51		オオヨシキリ	4	2	2	3	5	●	5	4	●		4		3			●
52		セッカ	●		●		●		●				●		1		1	
53	シジュウカラ	シジュウカラ																
54	メジロ	メジロ																
55	ホオジロ	ホオジロ									●		2		●		1	
56		ホオアカ																
57		カシラダカ																
58		アオジ																
59		オオジュリン																
60	アトリ	カララヒワ		1	3	1					1	●	●	●		●		
61		ベニマシコ																
62	ハタオリドリ	スズメ	11	●	6	●		●	2	●	7	7	1	●	11	1	9	18
63	ムクドリ	ムクドリ	8	2	4	●						●	13	29				
64	カラス	ハシボソガラス	●	●	●	●				1			2	2	2			3
65		ハシブトガラス				1												●
66	ハト	ドバト										21	60	120	1			2
確認種数			16	19	16	19	11	12	11	14	14	17	17	19	13	15	11	21
確認個体数			63	86	66	52	39	50	47	65	62	132	130	309	63	48	62	136

※ 表中の数値はスポットセンサスによる確認個体数、●は任意踏査及び船上調査による確認種

表 3-6-6 調査回別鳥類確認種 (9月～12月)

No.	確認種		9/10		9/24		10/15		10/29		11/12		11/26		12/10		12/24	
	科名	種名	ハス	水面	ハス	水面	ハス	水面	ハス	水面	ハス	水面	ハス	水面	ハス	水面	ハス	水面
1	カイツブリ	カイツブリ		8	●	11	1	11	2	10	12	5	3	7	17	3	10	16
2		ハジロカイツブリ													9			
3		ミミカイツブリ												1	1	●		1
4		カンムリカイツブリ										2		2	2	3		3
5	ウサギ	カワウ	●	2	2	25	●	45	6	34	15	14	19	24	11	7	16	41
6		ヨシゴイ																
7		ゴイサギ																
8		アマサギ																
9		ダイサギ		3		2	3	2	●	7	1	1	1	1	●	1	3	
10		チュウサギ	1	1	●													
11		コサギ		2	●	2	●	5	8	6	10	7	12	4	21	2	19	7
12		アオサギ	●	3		●	●	1	1	2	4	3	3	2	2	1		2
13	カモ	マガモ							11		44		62		49		42	
14		カルガモ	9	4	4	40	34	37	4	49	26	50	30	8	20	7	45	21
15		コガモ			2	15		18	●	28		44	4	37		46	2	15
16		ヒドリガモ																
17		オナガガモ						33					3		6	4	18	
18		ホシハジロ													1		4	
19		キンクロハジロ										1						
20		ミコアイサ															2	
21	タカ	ミサゴ						●									●	
22		トビ				●					●							
23		オオタカ											1				●	
24		チュウヒ									●						●	
25	キジ	キジ	1						●									
26	クイナ	バン				3				2		1		1			1	1
27		オオバン	1	1		1	●	1	13	●	19	8	23	9	26	12	32	8
28	チドリ	コチドリ		4		●												
29	シギ	インシギ		4		3		3		1		1		●		2		1
30		タシギ			1										●		●	
31	セイタカシギ	セイタカシギ				●		3		5		1		3				
32	カモメ	ユリカモメ						3	●	7		15	2	7	3	6	●	●
33		セグロカモメ						1			2	3	1	●		2	●	1
34		オオセグロカモメ																
35		アジサシ																●
36		コアジサシ										1						
37	ハト	キジバト			●		3	1		1								
38	カワセミ	カワセミ	4	2	●	2	●	1	1	3	●		1	2	1	●	3	3
39	ヒバリ	ヒバリ					1		2									
40	ツバメ	ツバメ	15	4	●													
41	セキレイ	ハクセキレイ		1		2	2	4	●	4	1	3	2	4	3	5	●	3
42		セグロセキレイ		1		4		1		3	1	4		5		1		5
43		タヒバリ																
44	ヒヨドリ	ヒヨドリ			8			6					●				●	
45	モズ	モズ	1		3	1	1		3	2			1		3		1	●
46	ツグミ	ジョウビタキ								4				●				
47		アカハラ																
48		ツグミ											1		2		1	
49	ウグイス	ウグイス											1			●		
50		コヨシキリ																
51		オオヨシキリ	6															
52	シジュウカラ	セッカ	1		4		●		4									
53		シジュウカラ								●								
54		メジロ																
55	ホオジロ	ホオジロ			2		●		1	●	2		1	●	3		3	●
56		ホオアカ							1									
57		カシラダカ														1		
58		アオジ			2		2		10	●	1	●	1	1	1	1	1	
59	アトリ	オオジュリン						●					4		7		28	
60		カワラビ					●		6	2			3			2		1
61		ベニマシコ																
62	ハタオリドリ	スズメ	27	5	14	●	122	1	25	11	51		13	●	42	8	●	●
63	ムクドリ	ムクドリ			1	2												
64	カラス	ハシボソガラス	●	●		1		5	●	6	13	2	4	2	●			
65		ハシブトガラス				2	1	●	●	6	●				●	2		1
66	ハト	ドバト	2													●		●
確認種数			14	16	17	21	18	22	24	25	19	20	25	23	25	24	27	23
確認個体数			68	45	43	116	170	182	98	193	202	166	196	120	230	116	231	130

※ 表中の数値はスポットセンサスによる確認個体数、●は任意踏査及び船上調査による確認種

表 3-6-7 調査回別鳥類確認種 (1月～3月)

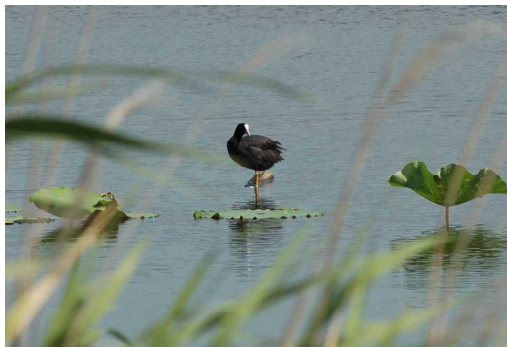
No.	確認種		1/7		1/21		2/4		2/19		3/4		3/18		年間合計	
	科名	種名	ハス	水面	ハス	水面	ハス	水面	ハス	水面	ハス	水面	ハス	水面	ハス	水面
1	カイツブリ	カイツブリ	23	7	8	11	16	18	16	8	9	7	8	11	165	194
2		ハジロカイツブリ													9	
3		ミミカイツブリ													1	2
4		カンムリカイツブリ	2	2	1	2		1	1	1		1	1	13	7	30
5	ウ	カワウ	3	8	5	8	6	3	10	7	23	9	15	5	184	412
6	サギ	ヨシゴイ													●	1
7		ゴイサギ													10	4
8		アマサギ													●	
9		ダイサギ	●	1	●	1		●			2	1	●	1	17	48
10		チュウサギ													1	3
11		コサギ	4	5	●	5		6	1	●		6		6	75	88
12		アオサギ	1	4	●	1	1	1	●		1	6	5	3	32	59
13	カモ	マガモ	23		48	3	40		46	●	9	1		●	374	4
14		カルガモ	3	30	41	35	16	45	24	15		31		20	282	566
15		コガモ		60	1	99	●	33	2	28	10	33	●	15	21	471
16		ヒドリガモ										1				1
17		オナガガモ	35		5	●	8								75	37
18		ホシハジロ	●		2		4		1		2		2		16	
19		キンクロハジロ														1
20		ミコアイサ	4		3		2	1		1		●			11	2
21	タカ	ミサゴ			●										●	●
22		トビ		1											●	2
23		オオタカ	1									1			2	2
24		チュウヒ	1					●							1	●
25	キジ	キジ	●								●	1			1	1
26	クイナ	バン		3		2		2		4		3	●	2	2	25
27		オオバン	48	7	50	16	51	11	54	11	36	8	20	7	394	123
28	チドリ	コチドリ														4
29	シギ	イソシギ			●		●	●	2		1	●	●		1	22
30		タシギ	20				10		10		1		13		55	
31	セイタカシギ	セイタカシギ														14
32	カモメ	ユリカモメ	2	7	●	3			2	2	1	4	2		12	54
33		セグロカモメ	●	1	●	●		2	1	●	4	4		●	8	14
34		オオセグロカモメ	1												1	
35		アジサシ														●
36		コアジサシ													●	18
37	ハト	キジバト		4											7	12
38	カワセミ	カワセミ	●	3	2	2	2	3	2	3			3	3	35	51
39	ヒバリ	ヒバリ											2		5	
40	ツバメ	ツバメ											●		181	69
41	セキレイ	ハクセキレイ	●	2		2		●		●		●		3	10	43
42		セグロセキレイ				1		1		●		1		●	1	28
43		タヒバリ							●		●				●	
44	ヒヨドリ	ヒヨドリ													8	6
45	モズ	モズ				1							1	●	16	4
46	ツグミ	ジョウビタキ			●	●		●		1		●			●	5
47		アカハラ										●				●
48		ツグミ	4	2	3		●	●	7		4		1		23	2
49	ウグイス	ウグイス	●				●		●		1	●	1		3	1
50		コヨシキリ													●	
51		オオヨシキリ													29	9
52		セッカ					●	●			●		●		11	●
53	シジュウカラ	シジュウカラ														●
54	メジロ	メジロ		2			●									2
55	ホオジロ	ホオジロ			●		●		7		2		1		25	●
56		ホオアカ					2								3	
57		カシラダカ														1
58		アオジ	1	●	2	2	2	2	●	1	●	●	1		24	7
59		オオジュリン	19		13	2	6	7	14	14	12	13	21	3	124	39
60	アトリ	カワラヒワ	8	●	●		1				●			4	22	11
61		ベニマシコ			●		1				●				1	
62	ハタオリドリ	スズメ	6	5	5	●	1	10	7		1	2	2	1	363	69
63	ムクドリ	ムクドリ	●				2				●		●		28	33
64	カラス	ハシボソガラス	7	●		2		●	●		2	2		7	30	33
65		ハシブトガラス				●					1				2	12
66	ハト	ドバト				28		●						3	63	174
確認種数			29	22	25	26	22	27	22	20	25	27	24	22	57	57
確認個体数			216	154	189	226	171	146	205	98	121	136	99	107	2,771	2,813

※ 表中の数値はスポットセンサスによる確認個体数、●は任意踏査及び船上調査による確認種

b. 指標行動

指標行動の確認結果を表 3-6-8 及び図 3-6-9～図 3-6-12 に示す。

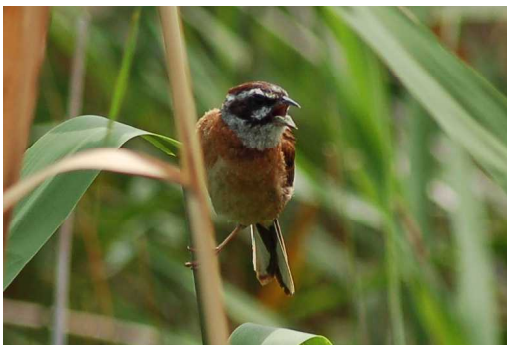
- 春季～夏季に、ハス群落の辺縁部やヨシ・マコモ等の湖岸植生帯でオオバンやカイツブリなどの水鳥類やホオジロ、オオヨシキリなどの小鳥類の繁殖指標行動を確認した
- 開放水面地区の植栽帯では夏季にサギ類やカワウ、カイツブリ等の採餌・探餌を多数確認し、冬季にも干上がった植栽帯でオオバンやイソシギの採餌・探餌を確認した
- ハス群落の境界部や航路沿いにある杭では、カワセミの採餌・探餌を多数確認した
- 春季～夏季はハス群落の内部で指標行動があまり確認されなかった
- 秋季～冬季に枯れたハス群落内で多くのカモ類が採餌・探餌を行っていた
- 冬季にハス群落周辺で猛禽類(ミサゴ、オオタカ)の狩りを確認した



オオバン(ハス群落辺縁部)



ダイサギ採餌(開放水面地区 植栽帯)



ホオジロ(ハス群落地区 ヨシ帯)



カイツブリ巣立ち雛(開放水面)



マガモ(ハス群落内)



オオタカの狩り(ハス群落内)

表 3-6-8 指標行動の確認結果

種名	繁殖指標行動				餌場・水飲み場指標行動			
	ハス群落		開放水面		ハス群落		開放水面	
カイツブリ	6	餌運, 巣立雛	5	餌運, 巣立雛	>7	採餌・採餌	22	採餌・採餌
カンムリカイツブリ					>1	採餌・採餌	3	採餌・採餌
カワウ					3	採餌・採餌	>11	採餌・採餌
ヨシゴイ	1	巣						
ダイサギ					2	採餌・採餌	14	採餌・採餌
コサギ					>10	採餌・採餌	20	採餌・採餌
アオサギ							4	採餌・採餌
マガモ					>12	採餌・採餌		
カルガモ					>5	採餌・採餌	>3	採餌・採餌
コガモ					>1	採餌・採餌	>17	採餌・採餌
ミコアイサ							1	採餌・採餌
ミサゴ					1	採餌・採餌		
トビ							1	採餌・採餌
オオタカ					3	採餌・採餌		
バン							>5	採餌・採餌
オオバン			3	巣, 巣材運	>20	採餌・採餌	>19	採餌・採餌
コチドリ							6	採餌・採餌
イソシギ							12	採餌・採餌
タシギ					>2	採餌・採餌		
セイタカシギ							6	採餌・採餌
ユリカモメ							3	採餌・採餌
コアジサシ					1	採餌・採餌	3	採餌・採餌
カワセミ	3	餌運	2	つがい	14	採餌・採餌	6	採餌・採餌
ツバメ	1	餌運			3	採餌・採餌	3	採餌・採餌
ハクセキレイ							3	採餌・採餌
セグロセキレイ			1	巣立雛			4	採餌・採餌, 水飲み
タヒバリ					1	採餌・採餌		
モズ					1	採餌・採餌		
オオヨシキリ	1	巣材運			1	採餌・採餌		
ホオジロ	1	警戒声						
アオジ					>2	採餌・採餌		
オオジュリン					>7	採餌・採餌	>6	採餌・採餌
ベニマンコ					1	採餌・採餌		
スズメ					1	採餌・採餌	3	採餌・採餌
ムクドリ	2	餌運						
ハシボソガラス					2	採餌・採餌, 水飲み		
ハシブトガラス							1	採餌・採餌

※ 指標行動欄には確認例数と代表的な行動を示す

「>」と表示されているものは、一定の範囲内で多くの個体が行動していた場合を示す

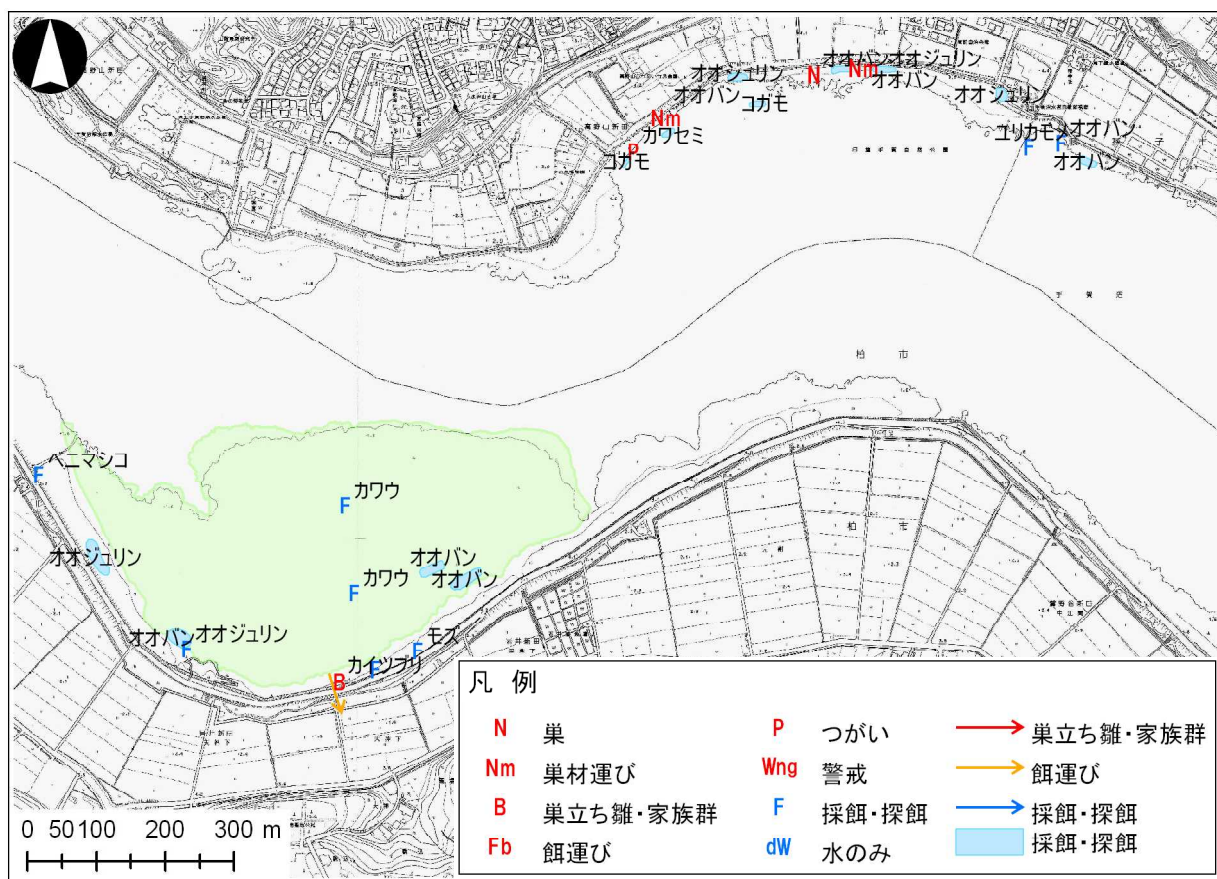


図 3-6-9 指標行動の確認結果 (5・3月)

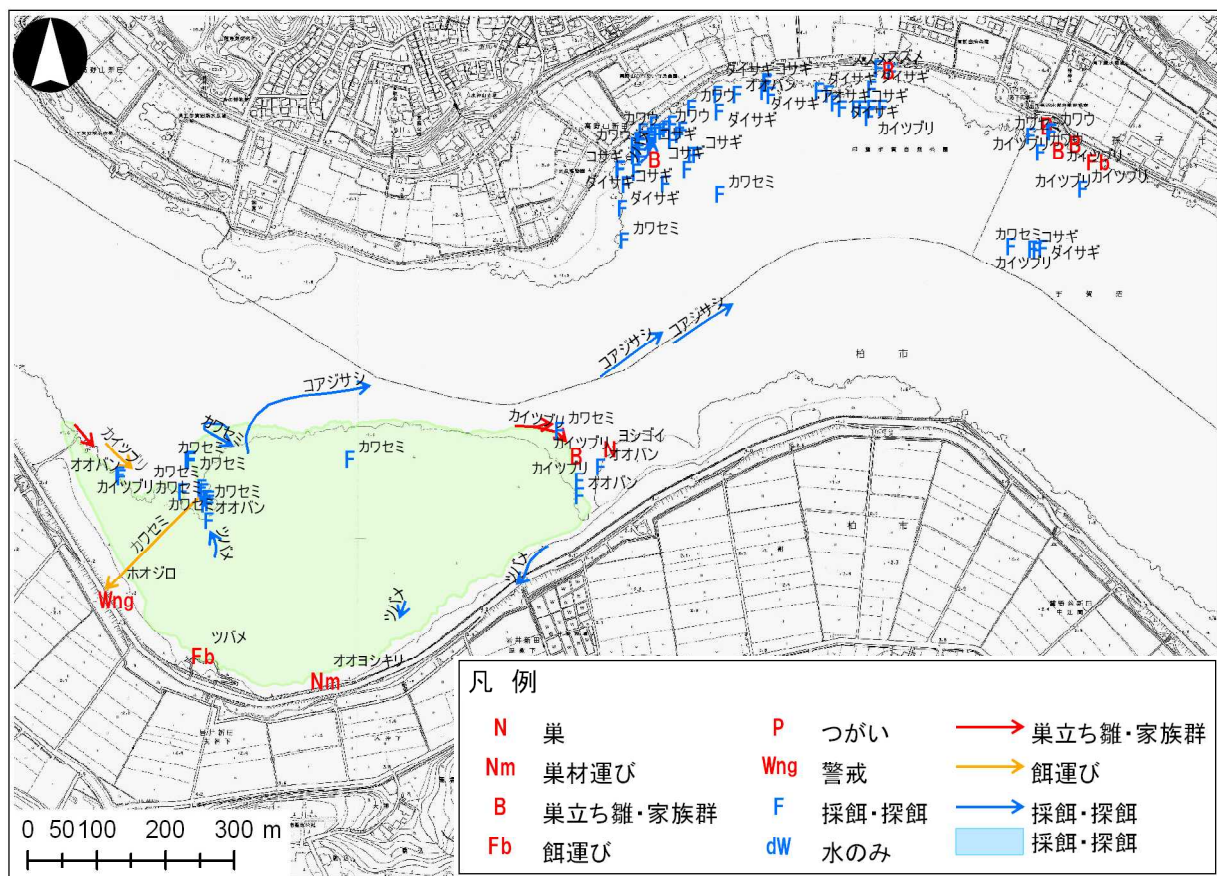


図 3-6-10 指標行動の確認結果 (6～8月)

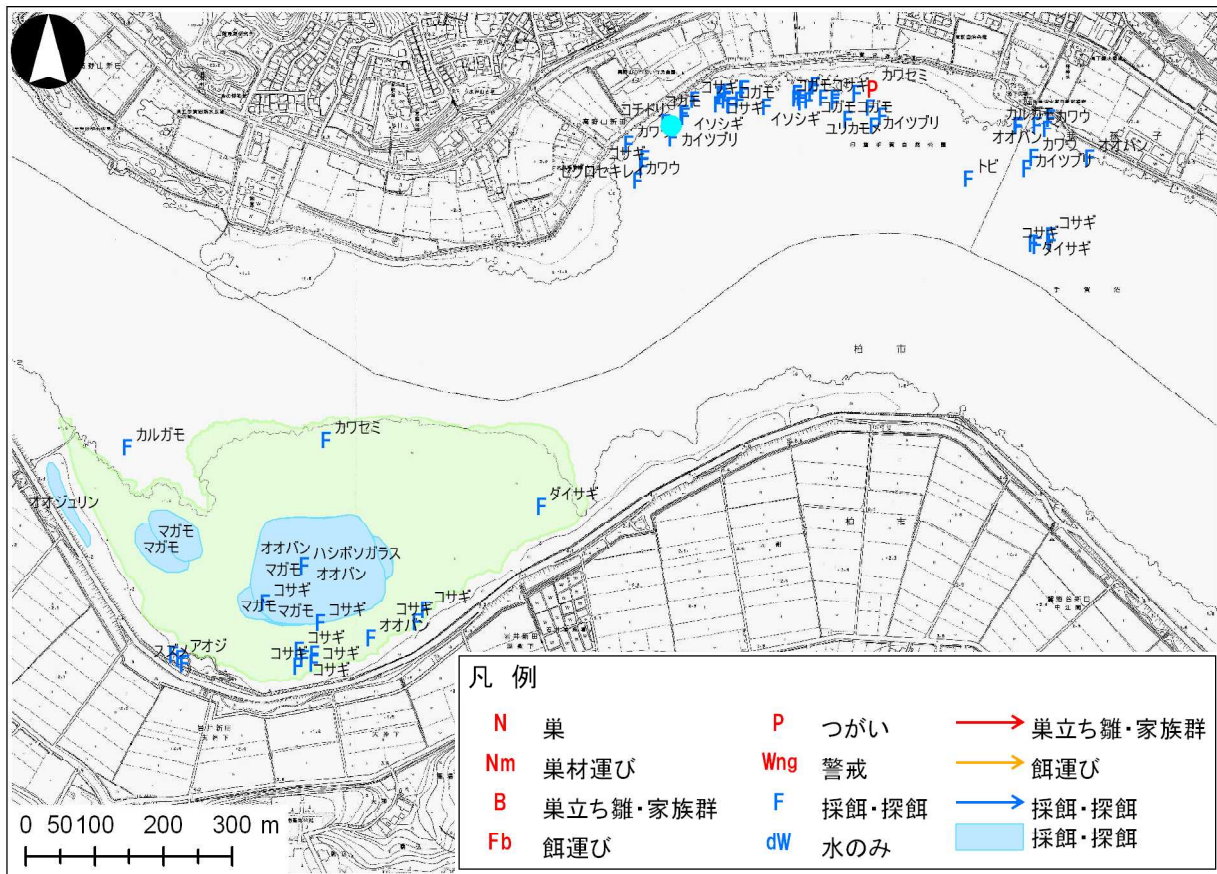


図 3-6-11 指標行動の確認結果 (9～11 月)

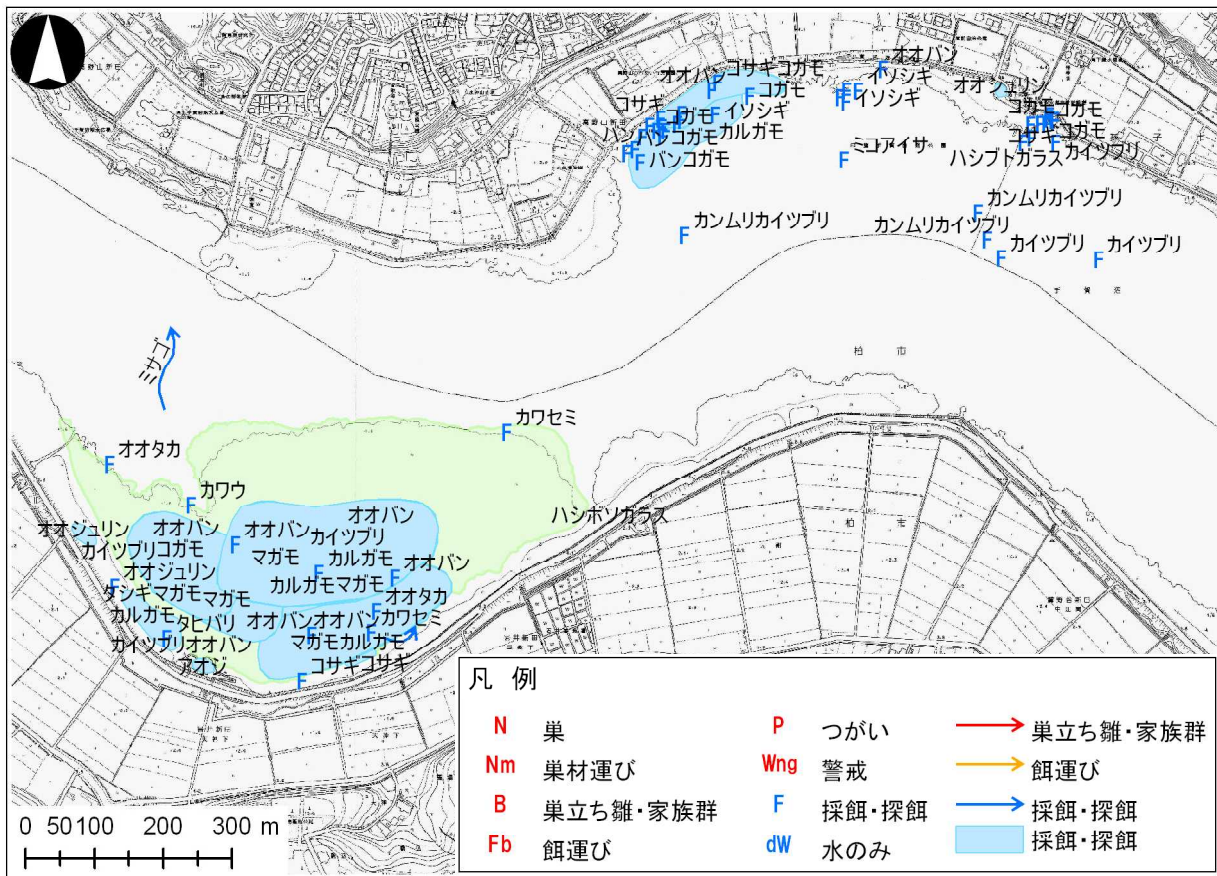


図 3-6-12 指標行動の確認結果 (12～2 月)

c. 重要種の確認状況

本調査で確認された重要種を表 3-6-9 に示す。

ここでは、重要種として、「千葉県レッドリスト(2006 改訂版)(以下 千葉 RL)」、「環境省版レッドリスト(平成 19 年 10 月 5 日修正)(以下 環境省 RL)」及び「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(平成 4 年 6 月法第 75 号)(以下 種の保存法)」に記載及び指定されている種を選定した。

- 本調査では 16 科 30 種の重要種を確認した
- 調査地及びその周辺の湖岸植生帯(ヨシ、マコモ等)で、ヨシゴイ、カイツブリ、オオバンなどの水鳥類の繁殖行動を確認した
- ハス群落付近の広いヨシ帯では、ホオジロやオオヨシキリの繁殖行動を確認した
- 冬枯れしたハス群落では、カイツブリ、コサギ、オオバンなどの多くの水鳥類が採餌しており、それらを狙うオオタカの狩りも確認された
- ハス群落内やその周辺に立つ杭では、オオタカやミサゴ、カワセミがとまって採餌している様子が確認された
- 開放水面地区に作られている植栽帯は水深が浅く、干上がる部分もあるため、セイタカシギ、バン、イソシギ、アオサギ、コサギ、セグロセキレイなどが餌場として利用していた
- コアジサシ、カンムリカイツブリ、カワウ等の魚食性の鳥類は主に沖合の開放水面部で採餌・採餌を行っていた



ミサゴ(ハス群落付近の杭)



コサギ(ハス群落地区)



セイタカシギ(開放水面地区)



コチドリ(開放水面地区)

表 3-6-9 重要種の確認状況

	確認種		確認個体数		ランク		
	科名	種名	ハス群落	開放水面	千葉 RL	環境省 RL	種の保存法
1	カイツブリ	カイツブリ	148	176	C		
2		カンムリカイツブリ	6	16	D		
3	ウ	カワウ	146	398	C		
4	サギ	ヨシゴイ	●	1	A	NT	
5		ダイサギ	15	46	C		
6		チュウサギ	1	3	B	NT	
7		コサギ	75	76	C		
8	タカ	アオサギ	26	50	C		
9		ミサゴ	●	●	B	NT	
10		トビ	●	2	C		
11		オオタカ	2	1	B	NT	希少
12	クイナ	チュウヒ	1	●	B	EN	
13		バン	2	20	C		
14	チドリ	オオバン	338	108	C		
15		コチドリ		4	B		
16	シギ	イソシギ	1	21	B		
17	セイタカシギ	セイタカシギ		14	B	VU	
18	カモメ	アジサシ		●	C		
19		コアジサシ	●	18	B	VU	
20	カワセミ	カワセミ	32	48	C		
21	ヒバリ	ヒバリ	3		D		
22	ツバメ	ツバメ	181	69	D		
23	セキレイ	セグロセキレイ	1	27	D		
24	ウグイス	ウグイス	1	1	D		
25		コヨシキリ	●		D		
26		オオヨシキリ	29	9	D		
27		セッカ	11	●	D		
28	メジロ	メジロ		2	C		
29	ホオジロ	ホオジロ	22	●	C		
30		ホオアカ	3		C		
	16 科 30 種		—	—	30	7	1

千葉 RL： 千葉県レッドリスト動物編(2006 改訂版)

(A) 最重要保護生物、(B) 重要保護生物、(C) 要保護生物、(D) 一般保護生物

環境省 RL： 環境省版レッドリスト(平成 19 年 10 月 5 日修正)

(EN) 絶滅危惧 IB 類、(VU) 絶滅危惧 II 類、(NT) 準絶滅危惧

種の保存法： 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(平成 4 年 6 月法第 75 号)

(希少) 国内希少野生動植物種